

日本青年会議所 建設部会
2019年度 副部会長 所信

副部会長（九州沖縄地区担当） 齊藤 慎介

わが国における人手不足の深刻化は、我々が住み暮らす地域経済の中で避けては通れない喫緊の課題となっています。また、生産年齢人口の減少が経済成長の重荷となる時代が到来しており、この点についても早急の対策が必要とされています。そんな中、現在では外国人が幅広い分野で人手不足を補い、各産業においてその存在は必要不可欠なものとなりつつあります。また、限られた人員の中で、品質や安全を確保しながら業務の効率化や生産性の向上等を目的に、ドローンやAIロボット、IoTなど最新テクノロジーの活用が、我々業界においてもより一層スピード感を持って進められている状況であります。そして、政府が掲げる「働き方改革」は、女性や高齢者の雇用促進、働き手のライフスタイルに合わせた多様な働き方など、労働環境も大きく変わろうとしており、企業に求められるものは一段と厳しさを増しています。

経済に目を向けますと、21世紀はヒト、モノ、カネが国境を越えて自由に動き、次々と新たなビジネスが誕生し、世界を激変させている時代となりました。近隣のアジア地域では、ビジネスに欠かせないより質の高い人材を求め、外国人労働者の獲得に向けた競争が始まっています。そんな状況下で、我が国においても「グローバル社会で戦っていくために必要なものは何か」という問いかけが、当然生じてくることと思います。建設部会ではその気づきの機会として、国際ミッション事業を計画します。この事業を通じて、国外の建設市場や実際の建造物に視て触れて感じてもらうことで、現在から未来への建設業のあり方や自らの会社の方向性、そしてビジネスネットワークの構築に結び付く事業を展開します。

目まぐるしく情勢が変化するこの現代社会だからこそ、「ビジネスを中心とした会員の交流」を通し、メンバー同士のネットワーク作りや情報共有が重要だと考えます。建設部会は、それを実現できる大いに魅力あるメンバーで組織されている、日本青年会議所最大の業種別部会です。部会活動には、これから一人ひとりに立ちはだかる様々な問題を解決できる「ヒント」が必ず存在します。その魅力を発信していくことで、心から通じ合える真の仲間を更に増やし、今以上に素晴らしい建設部会を創造できるように日々邁進していきます。